

# 全国統一小学生テスト 対策授業

国 4年生  
語

## ① 物語文の読み方

### ◆ あらすじ、場面、情景を読み取るう

物語文を読む時には、どういう「場面」の話なのか、どういう「情景」がえがかれているのかを考えながら読みましょう。

#### ① あらすじ(ストーリー)をとらえる

話のすじ(ストーリー)は、「いつ(時)」、「どこで(場所)」、「だれが(登場人物)」、「どうした(できごと)」かをしっかりと読み取りましょう。

#### ② 場面のうつりかわりをとらえる

「いつ(時)」、「どこで(場所)」、「だれが(登場人物)」、「どうした(できごと)」という四つの点からとらえた一つ一つのまとまりを「場面」といいます。話の流れ(あらすじ)を正確に読み取るには、場面から場面への変化(場面展開)を正確にたどる必要があります。「時」の変化、「場所」の変化、「登場人物」の入れかわり、「できごと」の変化などに注意しましょう。

#### ③ 情景から登場人物や作者の気持ちを想像する

ある場面の「様子」や「景色」、「その場の雰囲気」などをまとめて、「情景」といいます。「情景」描写は、場面の展開や登場人物(作者)の気持ちをそれとなく表しています。「情景」を思いうかべることができれば、登場人物や作者の気持ちを想像しやすくなります。

### ◆ 人物の気持ちを読み取るう

作者は、作品を通して自分の考えや理想を表現します。作者の伝えたいことを読み取るためには、登場人物の気持ちを読み取ることが大切です。

#### ① 気持ちを直接描写している部分に注目する。

「心配」「うれしい」「悲しい」などの気持ちを表す言葉や、「〜と思った(感じた)」などの表現からは、人物の気持ちが直接読み取れます。

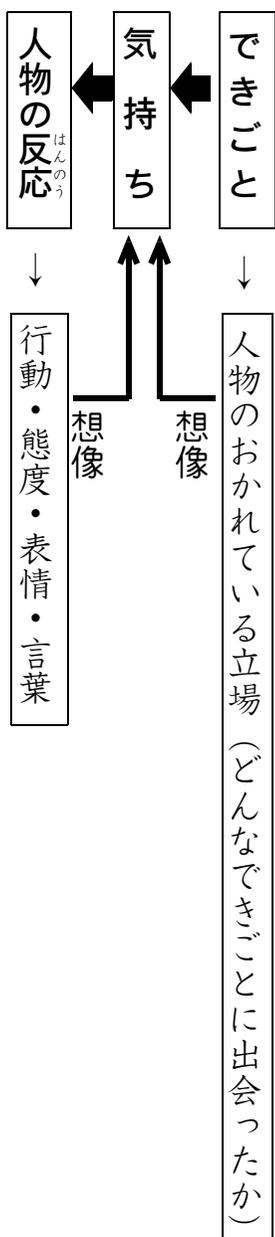
#### ② 気持ちを間接描写している部分に注目する。

人物の行動や動作、表情や態度、会話、まわりの情景などをえがくことによ

って、間接的に気持ちや心の動きを表現していることもあります。たとえば「A子は思わずためいきをついた」という場合、「A子はがっかりした」という直接描写に言い換えられることができます。

③ できごとと気持ちのつながりを考える

その人物がおかれている立場をつかんだうえで、どういうできごとが「気持ち」をひきおこしたのか、その「気持ち」がどういう「行動」にむすびついたのか、というつながりを考えて読むことが大切です。



◆ 主題をつかもう

文章全体を通して作者が最も書き表したかったことを「主題」といいます。「主題」を読み取るときには、次のようなことに気をつけましょう。

- ・「あらすじ」をしっかりとどること。
- ・主人公の行動や発言に注目すること。
- ・作者は、主人公を通して自分の言いたいことを読者に伝えようとしています。
- ・話の山場（クライマックス）に注意すること。
- ・話が一番もりあがるところは、作者がもっとも力を入れて書いているところなので、主題にかかわることが多くあります。
- ・主人公の考え方や生き方を、主人公にうつしだされていることが多くあります。
- ・作者の考え方や生き方が、主人公にうつしだされていることが多くあります。

② 文章問題にチャレンジ！

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「おとうさん」の会社が倒産し、社宅を出なければならなくなった「ぼく（太一）」たち一家は、近くで見つけた古い家に住むことになりました。引っこしてきた日、「ぼく」は自分の部屋の中で「やもり」を見つめます。そして、「おとうさん」から、「やもり」は「家守」とも書いて、「家の守り神」と言われていると聞きました。

5

「おい、やもり。おまえ、ほんとうにこの家の守り神なのか？」  
やもりがヒョコツと首を動かす。

「こんなボロ家の守り神やってるようじゃ、たいしたことないな」  
ぼくはそんな言葉をはきすてて、学校へ向かった。

学校にいても、なぜかやもりのことが気になる。だから、帰り道はダッシュになった。

「ただいま〜！」

階段を駆け上がり、ドアをいきおいよく開ける。

①「なんだ、まだいたのか。ちえつ、てつきりどつかへ行ってくれたと思ったのにな」

ランドセルをせなかからよいしょとおろす。やもりは勉強机のまん前にはりついてた。

「ふうっ、②きょうも一日、つまんなかったな」

えいっと、ベッドの上にダイビングだ。やもりのしっぽと首が、ときどきぴくっと動く。

「よしっ、おまえを今から、『ヤンモ』と呼んでやる。どうだ。ぼくは名づける親だぞ」

ヤンモのやつ、こんどは知らんぷりをした。

その日の夜、ぼくはなかなか寝つくことができなかった。まくらもとの時計を見ると、もうすぐ十二時だ。寝がえりをうつと、天井にヤンモがいた。

【おまえ、友だちいないだろ】

ドキッとした。みように低い声だった。

「だ、だれだ？ まさかヤンモ……。なんてわけないか」

その時、こんどはさつきよりはつきりとした声が、頭の中にひびいた。

【友だちいないだろ。弱虫だから】

気のせいだとは思いつつ、それでもぼくはムカツときた。ティッシュの箱をわしづかみにして、ヤンモに投げつけた。“パソコン！”。みごとにはずれ。

【一回でもいいから、おまえ、ガンバってみな。友だちできるから】

ぼくは夜中なのもわすれて、つい、大声を出した。

③「うるせえな。よけいなおせっかいだ！」

その後、いつ眠ってしまったのか、ちっともおぼえていない。夢だったのか、現実だったのか……。ただ、朝になってもヤンモは、あいかわらず天井にはりついたままだった。

30

35

学校へ行ったことは行っただけど、いつものように一日中、ポケットと窓の外を見ていただけだ。④「帰り道は、石ころをけりながら、ひとりでのんびり帰った。」

「太一選手、ごうかいなシュート。きまったあ、ゴール！」  
カーンと音がして、白いガードレールが石をはじめ返す。と、その時だ。見  
なけりやよかったものが目に入った。同じクラスの奈々花と菜摘が、四号公園  
で野良らしい犬に、ほえられていたんだ。ふたりは体を寄せあって、泣きべそ  
をかいている。

(へっ、ついてないな、あいつら)

⑤ 目をそらしてその場からはなれようとしたその時、ふっとあの声が聞こえ  
た。

【一回でもいいから……】

「な、なんなんだよ！ んもう、ええい！」

ぼくは、⑥ ほえまくる犬に向かって、二発目のシュートをくらわした。ポト  
ン、コロコロ……。大はずれ。石は犬のすぐ手前で失速。地面に情けなくころ  
がった。だけど、その石とぼくに気づいた犬は、もうぜんどこっちへ向かって  
走ってきた。

「ちつくしよう、おりゃ、おりゃりゃりゃっ！」

何を思ったか、ぼくはその犬に向かって走っていた。ランドセルをせなかか  
らひきはがし、むちゃくちゃにふりまわす。犬は歯をむき出して、ぼくに突進  
してくる。その時、ランドセルにくくりつけた防犯ブザーのひもがとれた。

「ピロロロロ……」

その音に一瞬、犬がひるんだ。

「ええい！」

バットがわりにしたランドセルがうなりをあげる。

「どや、フルスイングやで〜！」

なぜか関西弁になった。その発音の悪さにあきれたのか、ぼくのパワーと迫  
力にあっとうされたのか、犬はしっぽをだらっと下げて、とことこ逃げだした。  
ランドセルのバットは、またもみごとな大はずれだったのに。

「ありがとう、太一くん。かっこいい〜！」

奈々花と菜摘がかけよってきた。

⑦ どうってことねえよ、こんなもん。じゃあな」

ぼくはさっそうと、公園を後にした。

「ただいま〜！ あのな、ヤンモ。あのな……」

けれど⑧ ヤンモはいなかった。自分の部屋も、キッチンも、和室も、リビン  
グもさがしてみたけど、ヤンモはどこにもいなかった。一番報告したいあいつ  
が、どこにもいなかった。

それからまもなく、お父さんに新しい仕事が見つかり、その会社の社宅にも  
すぐに入れることになったんだ。「この時代にラッキーだったわ」と、おかあ  
さんは大喜びさ。

引っこしの日が来た。たった二カ月のボロ家生活だった。  
「じゃあな、ヤンモ。次に入る人たちのこともよろしくな」

ぼくはボロ家に向かって、小さく手をふった。

ぼくに友だちができたかって？ さあ、それはどうかな。だけど今でも⑨ヤン

モに感謝かんしゃしていることだけは確かだよ。サンキュー、ヤンモ……。

(山口理「ヤンモのいた日」〈岩崎書店〉より)

### 問一

——線①「なんだ、まだいたのか」とありますが、このように言ったときの「ぼく」の気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア きもちがわるいから、はやくいなくなっただけでいいと願っている。

イ まだ部屋にいてくれたことを、少しうれしいと思っている。

ウ 守り神として、本当に自分を守ってくれているのかうたがっている。

エ いままで部屋にいるつもりなんだろうかと不思議に思っている。

### ヒント

口では「なんだ、まだいたのか」と言っていますが、学校にいるときからやもりのことを気にかけていたので「帰り道はダッシュ」になり、家に帰るとすぐに部屋へやにいるかどうかを確かめたのです。

### 問二

——線②「きょうも一日、つまんなかったな」とありますが、その理由として最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア やもりが気になって、勉強に集中できなかったから。

イ おとうさんのことが心配で、早く家に帰りたいから。

ウ 引っこしてきた家がボロ家で、気に入らなかったから。

エ 親しい友だちもなく、この日もひとりぼっちだったから。

### ヒント

「ぼく」は学校ではどのように過ごしているのでしょうか。「窓の外を見ていただけ」「帰り道は、石ころをけりながら、ひとりでのんびり帰った」ということばに注目しましょう。

### 問三

——線③「うるせえな。よけいなおせっかいだ！」とありますが、こう言ったときの「ぼく」の気持ちを説明した次の文の□にあてはまるふさわしいことばを、それぞれ文章中からぬき出して答えなさい。

・ア二字 なのので イ三字 がないということを書いて、怒りがこみあげている。

ア	
イ	

ヒント

「ぼく」は、ヤンモからどんなことを言われたのでしょうか。

問四

——線④「帰り道」とありますが、この日の「帰り道」のできごとがえがかれているのは、どの行までですか。最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 42行めまで
- イ 62行めまで
- ウ 66行めまで
- エ 70行めまで

ヒント

場所を表すことばなどに注目して、場面の移り変わりをとらえます。公園から、自分の家に帰り着いたことがわかることばをさがしましょう。

問五

——線⑤「目をそらしてその場からはなれようとした」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 自分とは関係がないと思いつつも、同じクラスの子が困っているのに、見て見ぬふりをしてしていることを、うしろめたく思っている。
- イ 自分を仲間はずれにした女の子たちが困っている姿を見て、ゆかいな気持ちになったけれども、やっぱりかわいそうだとも思っている。
- ウ 女の子たちの運の悪さをかわいそうだとは思いますが、自分とは何の関係もないことにかかわる必要はないと思っている。
- エ 女の子たちを助けてあげたいとは思いますが、自分も犬がこわくてたまらないので、自分だけ逃げて助かるうと思っっている。

ヒント

女の子たちが困っている様子を見て、「見なけりやよかったものが目に入った」と思ったことから、あまりかわりたくないという「ぼく」の気持ちが読み取れます。「ついてないな、あいづら」からも、かわいそうだけれど、自分とは関係ないと思っっていることがわかります。そうは思いつつも、「目をそらして」いるのは、なぜでしょうか。

問六

——線⑥「ほえまくる犬」とありますが、この後でこのような犬の様子が変わるきっかけとなったのは何ですか。次の文の□にあてはまるふさわしいことばを、それぞれ文章中からぬき出して答えなさい。

- ・「ぼく」の **ア五字** についていた **イ五字** の音。

ア	□	□	□	□
イ	□	□	□	□

ヒント

ほえまくる犬の様子が変わった部分をさがすと、「その音に一瞬、犬がひるんだ」が見つかります。「その音」が指している内容を考えましょう。

問七

——線⑦「どうってことねえよ、こんなもん。じゃあな」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちとしてふさわしくないものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 照れくさい      イ 申しわけない      ウ うれしい
- エ ほこらしい      オ めんどくさい

□	□
□	□

ヒント

野良犬を追いはらった「ぼく」は、二人から「ありがとう、太一くん。かっこいい〜！」と言われます。今まで友だちもいなかった「ぼく」に、お礼のことばやほめことばをかけてくれたのです。

問八

——線⑧「ヤンモはいなかった」とありますが、ヤンモがいなくなったことで、「ぼく」はどんな気持ちになりましたか。その気持ちを説明した次の文の□にあてはまるふさわしいことばを、それぞれ文章中からぬき出して答えなさい。

- ・ **ア二字** でのできごとや自分の今の気持ちを一番に **イ五字** と思っているのに、いなくなってしまうのでさびしい。

ア	□	□
イ	□	□

ヒント

ヤンモの【一回でもいいから……】ということばをふと思い出し、「ぼく」は勇気を出して野良犬を追いはらい、女の子から感謝されたのですから、そのときのできごとや、今の気持ちをヤンモに話したかったのです。

問九 — 線⑨「ヤンモに感謝している」とありますが、それはなぜですか。次の文の□にあてはまる最もふさわしいことばを後のア～エから選び、記号で答えなさい。

・ヤンモのおかげで、□。

ア 友だちをつくることの大切さを学ぶことができたから  
イ 自分は弱虫ではなく、勇気があるという自信が持てたから  
ウ がんばってみようという気持ちを持つことができたから  
エ ポロ家生活が終わり、新しい家に引っこすことができたから

ヒント

ヤンモのことばのおかげで、「ぼく」は、どんな行動をおこすことができたのでしょうか。「ぼく」は、自分を変えるきっかけをくれたヤンモに「感謝」しているのです。

③ 説明文の読み方

◆ 接続語の働きを理解しよう

接続語の種類と働きは、次のように分類されます。

- ① 順接：前が原因や理由、後がその順当な結果や結論という関係でつながります。  
だから それで したがって すると そこで など
- ② 逆接：前で述べたことと反対のことやちがったことが後にきます。  
しかし だが けれども でも ところが など
- ③ 並列：前のことと後のことを同列にならべます。  
また および ならびに など
- ④ 添加：前のことに、後のことをつけ加えます。  
そして それから さらに しかも そのうえ など
- ⑤ 選択：前のことと、後のことのどちらかを選びます。  
または もしくは あるいは それとも など
- ⑥ 転換：前のことの話題をかえます。  
ところで さて では など
- ⑦ 説明：前のことについて、後でくわしく説明します。  
換言・要約：前のことを言い換えたり、まとめたりします。  
すなわち つまり 要するに など

**補足説明**…前のことを補って説明します。

ただし なお など

**例示**…前のことに対して、例をあげて説明します。

たとえば など

**理由・原因**…前のことに対する理由・原因を述べます。

なぜなら というのは など

◆ **指示語（こそあど言葉）を正しく読み取るう**

文章を読むときは、指示語の指し示す内容をきちんととらえることが大切です。指示語は、主に直前に述べた内容を受けて、くり返しをさけて、後につながる言葉です。

**指示語の種類**

指すもの	自分に近いもの	相手に近いもの	どちらからも	はつきりしないもの
ものごと	これ	それ	あれ	どれ
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こちら	そちら	あちら	どちら
ものごと	この	その	あの	どの
様子	こう	そう	ああ	どう
子	こんな(だ)	そんな(だ)	あんな(だ)	どんな(だ)

◆ **話題と要点を正しく読み取るう**

① **話題を読み取る**

説明文では、「あることがら」を取り上げて説明します。この取り上げている「ことがら」を「話題」と言います。ふつうは文章のはじめの方に示されています。「話題」を読み取るには、

- ・「……について」という言い方に着目しましょう。
- ・「問いかけの文（……でしょうか）」に着目しましょう。
- ・「くり返し出てくる言葉」に着目しましょう。

② **要点を読み取る**

説明文では文章全体がいくつかの形式段落に分かれています。それぞれの形式段落のまとめにあたる大事な内容を「要点」といいます。「要点」を読み取るには、

- ・「話題」と形式段落の内容との関係を考えましょう。
- ・形式段落のはじめや終わりに書かれている「まとめの文（中心文）」をさがしましょう。

・接続語（だから、したがって、つまり、要するに）や、指示語（このように、こうして）の後に着目しましょう。

◆ 段落の関係を考えよう

共通する話題や題材について書かれた、いくつかの文からなる小さなまとまりを「段落」といいます。

① 形式段落

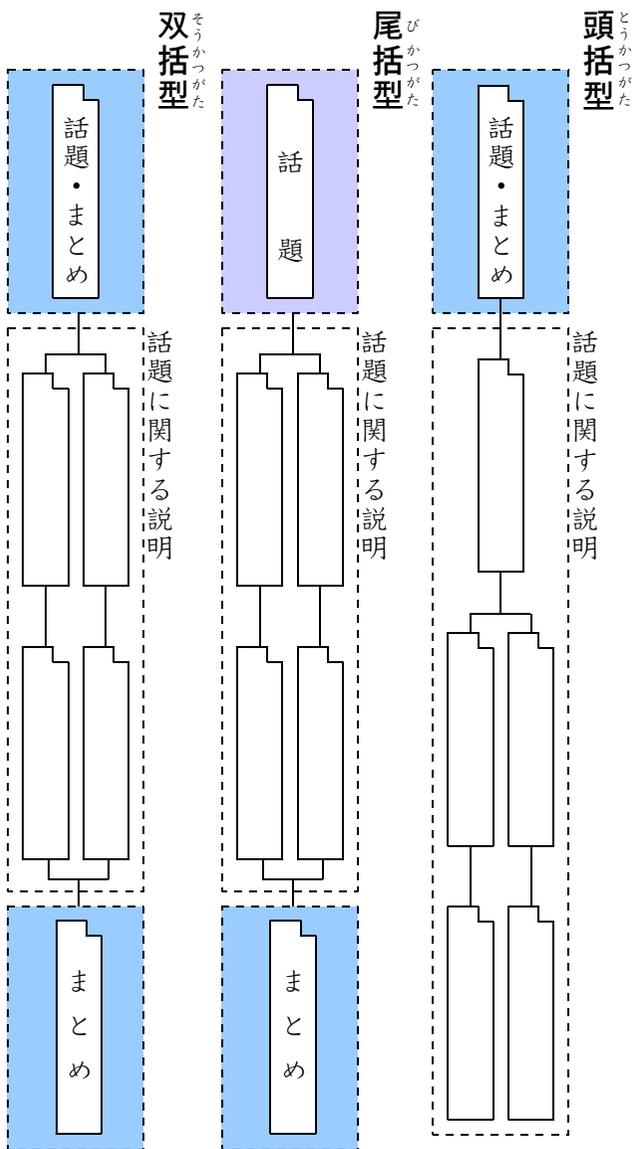
形の上での段落で、行を改め、一字分さげて書いてあります。各形式段落ごとに、「話題を示す」「結論を示す」などの役割があります。

② 意味段落

話題や題材が共通するいくつかの形式段落があつまって、内容のうえから大きなまとまりとなった段落です。形式段落の話題や要点が連続しているかどうか、ちがう話題にうつっているかどうかを考え、意味段落にまとめます。

◆ 文章全体の組み立てを考えよう

意味段落ごとの役割を考えると、文章全体の組み立てがわかります。「話題を示す段落」「結論を示す段落」「説明する段落」など、意味段落が文章の中でどういう役割をはたしているかをまとめてみましょう。



◆ 要旨を正しく読み取る

説明文で、筆者がその文章を通して最もいいと思ったことを「要旨」といいます。「文章全体の話題（問い）」と「結論段落の要点（答え）」をまとめたものが「要旨」となります。

4 言語要素問題にチャレンジ!

◆ 漢字の成り立ち

漢字は、今から三千年以上も前に中国で作られ、およそ千五、六百年前に日本に伝えられたといわれています。

ひらがなやカタカナのように発音だけを表す表音文字に対して、漢字は意味と発音を表す表意文字です。漢字を、その成り立ちによって四つに分類し、さらに、二つの用い方を加えたものを「六書」といいます。

① 象形文字……物の形をかたどってできた文字。

例 山・象

② 指事文字……形を写すことのできない物事を、点や線など記号を使って表した文字。

例 上・末

③ 会意文字……二つ以上の漢字を組み合わせて新しい意味を表した文字。

例 木十木↓林・日十月↓明

④ 形声文字……意味を表す部分(意符)と音を表す部分(音符)とを組み合わせて新しい意味を表した文字。漢字の約80パーセントは形声文字。

例 土(つち)＋反(ハン)↓坂・木(き)＋反(ハン)↓板

⑤ 転注文字……もとの意味から、他の意味に転じて用いられる文字。

例 楽↓もともとは「音楽」の意味であったが、音楽は人の心を楽しませるので、「たのしい」という意味で用いる。

⑥ 仮借文字……意味と関係なく、その文字の音だけを借りて、別の意味で用いられる文字。

例 亜米利加・印度

チャレンジ問題①

次の(1)～(8)の漢字は、後のどれにあてはまりますか。それぞれ選びなさい。

- (1) 森 (2) 想 (3) 魚 (4) 横
- (5) 二 (6) 鳥 (7) 上 (8) 岩

- ① 象形文字
- ② 指事文字
- ③ 会意文字
- ④ 形声文字

解答らん

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④	④

◆ 漢字の画数・部首

チャレンジ問題②

次の①～⑧の——線のことばについて、後の各問いに答えなさい。

- ① 大きな船がみなとに入る。
- ② おきやくさんにあいさつする。
- ③ 青いそらに白い雲がうかぶ。
- ④ 友人とうみを見に行く。
- ⑤ いけの周りを散歩する。
- ⑥ お湯でくすりを飲む。
- ⑦ 木のはがひらひらと散る。
- ⑧ 旅先のやどを予約する。

(1) ①～⑧の——線のことばを漢字に直したとき、**あ**「最も総画数の少ない漢字」と、**い**「最も総画数の多い漢字」を一つずつ選びなさい。

(2) ①～⑧の——線のことばを漢字に直したとき、総画数が「九画」になる漢字をすべて選びなさい。

(3) ①～⑧の——線のことばを漢字に直したとき、次の**あ**～**え**の説明にあてはまる部首を持つ漢字をすべて選びなさい。あてはまる漢字がない場合は、**⑨**を選びなさい。

- あ 人間かんげいに関するもの
- い 水に関するもの
- え 家いえに関するもの
- え 植物に関するもの

解答らん

③ え	③ う	③ い	③ あ	(2)	① い	① あ
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨			

↑  
②はすべて選びましょう

↑  
③の**あ**～**え**はすべて選びましょう。  
あてはまるものがない場合は、**⑨**を選びましょう。